統合業務システム“HYPERSOLUTION”

新田俊晴*　寺内直久*
奥村千枝男*
高原照明*

要　旨

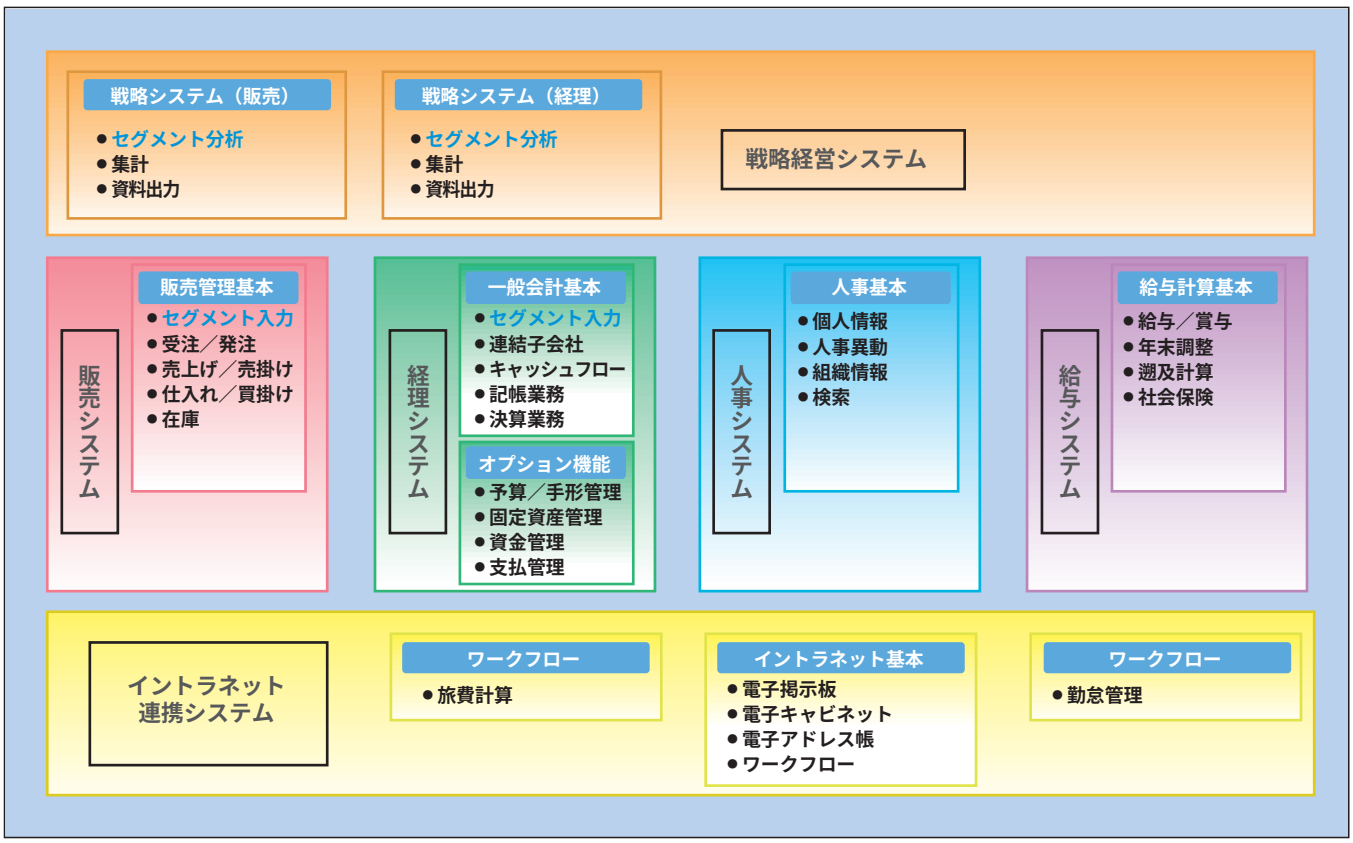
国内のERP(Enterprise Resource Planning)市場は，1998年には600億円程度であったが，2000年には1,000億円を超えると言われている。特に中堅企業向けシステムは急激に拡大しており，2000年には，数で50%，金額で450億円程度にまで拡大すると見られている。

大企業向けシステムは，先進企業のノウハウが組み込まれているが，導入コストも高く，導入するには“ビジネスプロセスの見直し”が必要となり，複雑な商習慣を持つ日本の企業に適用するには無理があった。そのため，比較的安価に導入できカスタマイズも簡単な中堅企業向けERPシステムが注目されており，2000年３月期適用の“新会計基準”や昨今の“人事制度改革”に合わせて，多くの製品が市場投入されている。

三菱電機が2000年１月に市場投入した“HYPERSOLUTION”は，年商300億円程度の企業をターゲットとしたオープン環境で動作する“中堅企業向け”のERPパッケージであり，経理・人事・給与・販売・戦略経営・イントラネット連携の六つのソリューションを提供する統合業務システムである。

当社のビジネスアプリケーション開発環境“HYPER-PRODUCE II”で開発されており，簡単に高度なカスタマイズができ，将来のプラットフォームの変化にも柔軟に対応できる。

また，“DIAPRISM”技術を応用した高速データベースエンジンに販売データ・経理データを取り込んで，多角的・戦略的にデータ分析を行えることや，Webから入力した旅費精算や勤怠の情報を経理や給与に取り込むことができるなどの特長がある。



統合業務システム“HYPERSOLUTION”

HYPERSOLUTIONは，販売・経理・人事・給与の四つのソリューションと，それらを連携するイントラネット連携，戦略経営の二つのソリューションで構成される。すべてのソリューションが有機的に連携する統合業務システムでありながら，各ソリューション単独での運用も可能となっており，小規模からの導入を可能とした。